







SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

<宣言日・変更日>

2021年 10月 1日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿		
「老舗の伝統の味」を傳承し未来の「老舗の味」を育めるよう挑戦しながら、駿河湾の水産資源と環境を守っていききたい。		
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動		
地域貢献の一環として地元の水産資源を最大限に活用しフードロスに貢献している。		
目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組	2022年12月31日までの取組目標
	当社の商品のはんぺんは魚の骨ごと使用したすり身から作られるため良質なタンパク質やDHAが豊富に含まれている。この昔ながらの製法を今日まで守り製造している。	魚嫌いの人や子供でも食べられるような商品を年に最低一つ開発して魚をもっと食べてもらうようにする。
	社員、パート社員を対象とした研修の実施。	SDGsの事例を絡め、やる意味を理解してもらうような研修を計画し年に2回は実施する。
	時間外労働を削減し時間を管理しながら効率生産に努める。	時間外の労働を平等化し有給休暇を取りやすくする。誕生日休暇の設定等 会社で考えていく。
	フードロスの削減。	地元(由比)でとれる魚を優先的に使用する。魚は頭と内臓は堆肥として再生し、残りの魚は骨ごとミンチにして商品にしている。歩留まり60%を目指す。
	「しずまえ」の魚を加工して地産地消を推進する。	「しずまえ」特に由比で水揚げされた原魚を加工し『しずまえブランド』の商品化により由比地区の発展、ブランドの発展に努める。
	駿河湾産 桜えび や シラスの自然保護や地域の発展と繁栄に努める。	地元(由比)でとれる魚を優先的に使用し、この地域の良さや味、魅力を発信していきたい。

(記載上の注意)

- 1 取組は3～5つの目標に関する取組を記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 目標はなるべく定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

事業所・団体等 又は関連事業者等 の名称	さすぼし蒲鉾株式会社 本社が届け出る場合はその事業所の数 ⇒	
業 種	1. 農林水産業	
代表者 職・氏名	職 名	代表取締役
	氏 名	野尻 崇生
所 在 地	〒421-3105 静岡県清水区由比町屋原176-7	
従業員 (構成員) 数	17人	
事業所・団体 ホームページURL	https://www.sasuboshi.ne.jp/	